

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立出来島小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の「運営に関する計画」の最終評価については、よく理解できた。ここ数年、授業中に落ち着かに離席したり、教室から出たりしてしまう児童もいたようだが、本年度はどの学年も全員落ち着いて授業に臨むことができているとのことなので、とても安心した。学力に関する結果については目標値に達していないとのことだったが、年々向上しているので、引き続き取り組みを続けてほしい。また体力について、次年度以降も向上につながる取り組みを積極的に行ってほしい。教育環境の充実についても、パソコンを上手に使うだけでなく、正しい使い方やモラルも併せて指導をお願いしたい。

次年度以降も、外国籍児童（や外国にルーツをもつ児童）が増えいていくとのことだが、お互いが仲良く力を合わせて学校生活を送ってほしい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

【安全・安心な教育の推進について】

- 『出来るんジャーカード』を活用した取り組みに感心した。特に、チャイムを守るために本年度から予鈴を鳴らすことはとても効果のある取り組みだと思う。
- 学力経年調査における「学校の決まりを守っていますか」74%と達成できていないが、具体的な決まりである内容の児童アンケートの「ろうか歩いている」「チャイムの時間を守っている」の肯定的な回答は87%でよかった。
- 学力経年調査では「自分には、よいところがあると思いますか」は78%、校内アンケート「自分には良いところがありますか」は86%といずれも目標を達成してよかった。

【未来を切り拓く学力・体力の向上について】

- 国語科の校内研究にて学習方法を積み重ね、その結果、小学校学力経年調査における結果は、2学年は前年度より0.02ポイント以上の向上ができたことはよかった。
- 体力について、チャレンジカードや頑張りカード、掲示物を活用することで目標を達成しようとする意識付けを行うことができてよかった。また運動強調週間（なわとび・駆け足）の結果では、実施前と実施後の記録において、それぞれ約8割の児童が目標記録を上回ることができてよかった。

【学びを支える教育環境の充実について】

- デジタルドリルや調べ学習、資料作成や情報共有の手段など、授業の中で負担なく活用することができているようである。また各教科での利用や毎日の持ち帰りがあることから、学習用端末の積極的な活用が理解できた。
- 授業終了の時間が早くなったため、会議や研修の開始時間を早く設定することで、放課後の業務時間が増えたのは、有効な手段であった。その結果、時間外勤務時間上限基準の達成率が94.7%となり、教職員の時間外勤務時間削減に効果的だったと思う。

3 今後の学校園の運営についての意見

今後の学力向上において、基礎学力（読み・書き・そろばん）のさらなる定着は必要である。学校では本年度になって読書活動に積極的に取り組んでいるとのことなので、文字の習得に加え、正しい書き方の指導にもいっそう取り組んでほしい。地域としても、最近は少なくなってきたそろばん塾の代わりに、ゲストティーチャーとして子どもたちの計算力向上に協力したい。

また地域と連携した防災教育の継続実施により、子どもたちの防災意識の向上がみられ、本当にうれしく思うとともに、不測の事態に備え、今後も地域全体で防災に力を入れていく。